

日本博を契機とした障害者の文化芸術 フェスティバル –キャラバン事業–

1. 企画概要

障害者の文化芸術フェスティバルの中で各地の舞台芸術等の映像作成を行っている。本フェスティバルの取り組みをより幅広く多くの方に向けて発信するために、フェスティバル映像を用いて福祉施設（子ども・高齢者・障害者等）や障害者団体などでの配信を行う。

2. 実施内容

実施団体は動画コンテンツの選択、観覧場所の手配、観覧者数の集約、上映に関する手配等を行う。（実施団体の準備は以上です）事務局は出演者等とのリレーション、上映に関する手配等のサポート、支払い手続きを行う。

動画コンテンツ：別紙のとおり。ZOOM を用いた出演者と会場との双方向のコミュニケーション（アフタートーク等）も希望に応じて調整可。

また、出演者が会場に赴くことも予算に応じて調整可。

観覧場所：基本的には実施団体関連施設内での上映（借用会場での上映を希望する場合は要相談）。実施団体関連施設内+配信（会場に来られない人など）も実施可。

観覧者：障害福祉サービス事業・施設利用者や各団体の会員等

配信方法：① DVDを用いた配信 ② YouTube を用いた配信

③ DVDとYouTube を用いた配信

実施期間：令和3年8月～令和4年3月（前月中旬までに計画確定）

実施要件：視聴している様子や活動の様子が分かる写真の提出およびアン

ケートへの協力（写真はWEB、SNS等に掲載予定）

3. 費用について

実施団体における配信料等の負担はありません。映像配信料およびアフター

トーク等出演料、出演者旅費、会場借用料等の経費は日本博事業費から支出。

配信機材等をレンタルする場合は事務局と調整

【キャラバン事業活用の例】

施設で鑑賞会・・・コンテンツ：瑞宝太鼓、観覧場所：施設の多目的室

観覧者：施設利用者や家族、職員、配信方法：①または②

各団体の会員による鑑賞&交流会・・・コンテンツ：バリアフリー演劇「ヘレン

ケラー～ひびき合うものたち」、観覧場所：各自のそれぞれのパソコン等（会

場を確保して集まってもOK）、観覧者：各団体の会員、会員からの紹介者、

配信方法：①または②に加えて、Zoomによる出演者との意見交換